

〔赤嶺奈津江議員 登壇〕

○12番 赤嶺奈津江さん 22日から一般質問が始まりまして、皆さんおっしゃっているように平成最後の一般質問。最終日のラストバッターということで、皆さんからいい回答をいただけたらと思いますので、よろしくお願いいたします。それでは一括で質問いたしまして、再質問から一問一答で行きたいと思いますのでよろしくお願いします。

1. 宮平学校線について（当間原付近）。（1）道路整備工事後、防犯灯がなく危険である。早期に防犯灯を設置すべきであるが確認しているか。（2）当該箇所は、北丘小学校方面から丸大向けに左折する際、道路進入口が狭まり渋滞になりやすく、車の往来も多いため、歩行者にとっても危険である。改善するべきと思うがどうか。

大きい問い2. 国民健康保険財政の赤字対策について問う。これまで国保については赤字が続き累積で約17億円にもなり、赤字解消に向けた対応で国保加入者もですが、国保加入者以外の町民の皆様にも負担となる状況になってしまったこと。税収が伸びる中で行政サービスとして行ってきたことが縮小された部分もあり、議員である私ももっと早期に対策提案できなかったことを申しわけなく、遺憾に思うところであります。その中で次年度に向けて、国保税率改正を行われましたが、まだまだ赤字の状況であります。そうして行政運営にも大きな影を落としている状況でありますので、これからの国保財政の赤字対策について伺います。（1）国保財政が厳しい中、保険税率改正が決定したが、今後の対策をどのように考えているか。（2）沖縄戦の影響を受けた特殊事情の前期高齢者財政調整制度に起因する赤字が続く、本町も大きな影響を受けた。国に対し、赤字解消に向けた財政支援策を要望してほしいが町長の見解を伺います。（3）国保事業は、今年度より県単位化された。市町村が運営している国保事業を県も引き継いでいるため県も一定の割合、財政負担をしてもらいたい。国と同様に県へも財政支援策を要望してほしいがどうか。町長の見解を伺います。

大きい問い3. 県道241号線について問う。（1）町内区間の全線完成はいつか。

（2）当該計画時より、新川区の人口は激増している。区内から県道への直接アクセスできる箇所が首里、兼城方面から区内に入れる道路が1本、首里側からしか入れない道路が1本の計2本であります。中には、区内に直接入れない家もありますので、県に対し、道路設置の要望ができないか。大きい問い3つ、よろしくお願いいたします。

○議長 知念富信君 副町長。

○副町長 国吉真章君 質問事項1点目の宮平学校線について。（1）についてお答えします。集落内の防犯灯設置は、宮平区で行うということから、今後、区と調整をしてみたい。

（2）についてお答えします。丸大方向から宮平学校線への取り付け箇所については、用地の関係から従前と同じ幅で取り付けられています。拡幅は支障物件の移転等、用地の確保が困難であるということから安全対策について与那原署と調整をしてみたい。

質問事項2点目の国民健康保険財政の赤字対策の（1）についてお答えします。沖縄県が策定した沖縄県国民健康保険運営方針において、沖縄県は将来的な保険料（税）の統一については、平成36年度からの実施を目指すとしております。今後については、県や市町村の動向等を注視しながら、検討してみたいと思います。

次の（2）と（3）については関連しますので一括してお答えします。沖縄県の特殊事情に配慮した財政支援や制度の構築等を引き続き国に要請するとともに、国保財政運営の責任主体としての役割を担う沖縄県に対しても、市町村国保への財政支援を要請してみたい。

質問事項3点目の県道241号線について問うの（1）についてお答えします。沖縄県南部土木事務所に確認をしたところ、新川交差点から町道11号線との交差点まで平成31年度中の完了、町道11号線から旧社協前の照屋北交差点までを平成33年度中の完了を目指しているとの回答がありました。

（2）についてお答えします。南部土木事務所では、当該箇所については、計画当初より地域への説明会等を重ね周知を図り、交差点の接近性等公安委員会の協議調整の結果、現在の形態に至っており、新たな道路設置は困難であるとの返事がありました。質問箇所においては、道路改良前から集落内の道路と連結されていない行きどまり道路であり、県道の改良工事において、県道と当該道路を結ぶことで機能復旧されていることから、道路設置の要望については困難であると考えております。以上です。

○議長 知念富信君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん ありがとうございます。それでは、1問目から再質問行きたい

と思います。今回、質問した箇所には横断歩道があるんですけれども、北丘小学校側から当間原向けにいくと、車が来ると横断歩道を渡ろうとしている人が確認できないんですね。特に夕刻、暗くなりかけてくると歩行者が立っていること自体見えないという箇所です。で、実際、私は宮平在住ではない町民の方から、あそこを通る際に子供たちが轢かれそうになっているのを見て危険だと思ったということで、改善してほしいという要望を受けての質問になっています。実際、あそこは交通量がかなり多くて、そして交通量も多い上に地元の方が歩いて買い物に向かったりとか、通学路になったりということで横断する方がかなり多いんですね。その中で、工事終了後も防犯灯がなかったということが、実際、私は車に乗って通ることが多いものですから、気づかなかったことに申しわけなかったと思うんですけれども、この町民の方から声をいただいた後、執行部にこの質問を出す前に宮平の区長にもこういう要望がありますということで宮平区のほうにも連絡をして、区長にも現場を確認してもらいました。実際そうすると、区長も下から、北丘小学校側から来る際に、車がスピードを落とさない状況、歩行者が立っていても見えない状況を見て、これは危険ですねということで、町のほうとも調整していきたいということでありましたので、早期に対応していただきたい。対応していただけるものだと思いますけれども、いかがでしょうか。

○議長 知念富信君 まちづくり振興課長。

○まちづくり振興課長 金城政光君 答えします。学校線の整備については、用地の関係でこういう形になったというところでございますけれども、防犯灯については宮平区と調整をして、現在、施設としては設置されております。ただ電力との、申請中で電力供給はまだされていないということでございます。

○議長 知念富信君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん ありがとうございます。要望を出した際にも予算的にも厳しい時期ということであって、どうなるかまだということだったので、この話を聞いて大変うれしく思います。実際、歩行者が見えないというところで、私も区長が来る前に1時間ぐらい様子を見ていたんですが、お母さんが小さい子の手を引いて渡ろうとするんですけれども、北丘側から来る車に全然とまる様子が見えないんですね。また下においていて様子を見ると、歩行者が立っていること自体が確認できないということがわかったものですから、できたら信号機ありではなくて、歩行者ありとかということですね、憲治議員からも前回あったんですが、路面に歩行者ありとか、そう書くことで注意を喚起するような対策ができないかどうか。横断歩道の手前にやっていただけないかと思うんですが、いかがでしょうか。

○議長 知念富信君 まちづくり振興課長。

○まちづくり振興課長 金城政光君 安全の対策については、与那原署とも調整しながら路面標示をすとか、白線を引くとか、そういうのがあろうかと思いますので、与那原署と相談しながら何らかの対策をしていききたいと思います。

○議長 知念富信君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん ありがとうございます。実際、今回善之議員とかからも質問がありましたけれども、3号線のところ、かなり交通の形が変わってきてどういう動きになるか見えないものですから、急いでいる人がかなりのスピードで来ると事故が起こりそうな道のつくりになっていったりとか、当間原に上がるところも、危ない箇所を通り過ぎて、ほっとしてまたスピードを出すという可能性も出てくるものですから、そういったことから早目の対応をしてもらいたいというふうに思います。実際、329号バイパスの側道ができてから、当日、翌日ぐらいには最初の事故があったと聞いていますので、早目に対応をしていただきたいと思います。

次、丸大方向から宮平学校線側に、取りつけ箇所で狭まっているということで、ガードレールが鋭角になっていて、普通、Rをもう少しなだらかにするんじゃないかという感じを受けるものですから、角が鋭角になりすぎて、これも北丘側から上がってきて、丸大に曲がるときにはかなりの角度で曲がるものですから、詰まってなかなか相互通行できないような形があって、そこにまた歩行者がいたら危ないものですから、早目に対応していただきたいんですが、どういうことが考えられますか。

○議長 知念富信君 まちづくり振興課長。

○まちづくり振興課長 金城政光君 先ほどと同じ答えになってしまいますけれども、与那原署とも相談しながら、何らかの対策を立てていききたいと思います。

○議長 知念富信君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん かなり危険度が高いと、小さい子も丸大側に向かって、歩いて

買い物に行ったりというのを見るものですから、車の往来で子供を避けるためにずっと車がとまっていたりとか、そういったものもあって、なかなか危険だなと、子供たち後ろ見ないでパッと道に出たりとかというの、危ないと思うんですけども、この入り口側には特に危険を感じるものですから早目の対応をしていただきたいというふうにお願いして、次の質問に行きたいと思います。

2問目、赤字対策ということで、一般会計からの繰り出しという観点では議員の中でもそれぞれ意見はあると思いますが、私としては弱者を守る最後の砦の国保ではあります。が、受益者負担、税の公平性から行けば料率改正で実施負担増は致し方ない部分もあると感じております。負担が厳しい方には実質7割軽減、2割軽減、1割軽減など措置もされるので、そのことについては国保加入者への周知を徹底してほしいと思います。3月21日のタイムスでは、2017年度の国保の財政状況ということで新聞に載っていましたけれども、県国保で67億円の赤字、36市町村一般繰り入れでは22億円減っているということではありますけれども、実質は一般会計からの繰り入れをしないと運営できない状況というのは変わりないと思います。その中で対策として、今後上げていかなければいけないとか、いろんなことはあると思いますが、早期に対応しなければ、今実際に改定しても赤字が生まれる、そういう状況にありますので、町民の方から税収をいただいて一般会計に入ってくるお金の中でも、町民が本来受けるべき行政サービスが受けられない部分も、縮小されてしまった部分もあると思うんです。それからすれば国保の負担者に対しても同じように、すみませんが負担をお願いしますとちゃんと説明をして、順序立ててやっていけば納得いただける部分も大きいと思いますので、早期の対応を考えないといけないと思いますけれども、回答の中では県や他市町村の動向を注視しながら検討していきますとありますけれども、南風原町は、まだ現在、そんなにまで高い位置にいるわけではなく、ほかよりも赤字が大きい部分がありますので、早期に対応しないといけないというふうに思いますけれども、身を切るというところでは、町も町民も一緒にやらないといけないと思いますが、どうお考えでしょうか。

○議長 知念富信君 民生部長。

○民生部長 知念 功君 まさに議員おっしゃいますように、町の財政の中から、町民全体の予算としての部分から、一般会計のほうから財政負担、これが平成20年から30年度までに20億円既に国保会計に一般会計から繰り入れしています。そういった部分から見ますと、議員おっしゃいますように、本来町民サービスとして支出すべき部分が、若干影響出てくる部分があると思います。そういった部分から見ても、やはり国保、特別会計の中でしっかり解決できるような方向にしていかなければいけないと。そのためにはやはりどうしても加入者の皆さんにもご負担いただいて、まずこの4月1日からは税率が改正されるわけでございます。しかしながら、まだその段階で、その改正後の時点においてもまだ、単年度の赤字を埋めるような税率にはなっておりませんので、その部分は引き続き、我々は次の段階をとるというふうに考えているわけでございます。ただ、先ほど副町長の答弁にございました、他の市町村の動向等という部分に関しましては、これは毎年県がそれぞれの市町村ごとの事業費納付金、それから標準税率を示します。毎年医療費は動きます。今のところ県全体では国保の加入者が減ってきている状況にありまして、総医療費全体から見ますと、横ばいから少し減少傾向にあります。そういった部分も見ながら、どの程度まで、いつの時点で上げていくべきかという部分は、その辺の医療費の動向とか、県内の市町村の動向、そして最終的には県は平成36年度に税の統一を目指していますので、その時点にいきなり急激な税率の上昇にならないような形で、どの段階にどの程度という部分をしっかり検討しながら進めていきたいと考えています。

○議長 知念富信君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん かなり厳しい道のりではありますけれども、地道にやっていかないと。また期限がある程度決まっていますので、しっかりやっていただきたいと思います。また、実際3年間で、これまで過去の累積分は解消するというところで、10億円とか、次が3億6,000万円でしたか、そういうふうに入れていくということで、3年ぐらいで解消という目標を立てていましたけれども、実際かなり民生部関係でも子育ての部分でもかなりの費用がかかっておりますし、簡単に3年という区切りを持つのではなくて、寛諒議員からもありましたけれども、少し延ばしていくとか、そういったことも考えないといけない部分もあるのかと私も思います。当初の計画どおりでいくのか、当初の計画どおりいったとしても累積がまたふえるわけですから、現年度分という形で。そういう中でどういうふうに対応していくか、検討している内容でもいいですので回答をお願いしたいと思います。

○議長 知念富信君 民生部長。

○民生部長 知念 功君 中期財政計画での国保の累積赤字の解消の部分に関しまして、あれは平成29年度までに積み上がった累積赤字に対して、29、30、31年度と3年間で解消していくという計画でございました。国保の特別会計の中におきましては、平成30年度においても、そしてまた31年度もと毎年赤字が発生します。ですからその部分の解消、それも含めた累積も、そして単年度赤字でまた積み上がる部分も含めて、国保のほうでは平成35年度までに解消するようにというのが、これは県の国保運営方針の中で示されています。各市町村は赤字の削減、そして一般会計からの法定外繰入の削減とか、そういった部分に取り組み、平成35年度中までに赤字を解消すると示されておりますので、そこまでに解消できるような形で、まず何ができるかといいますと、やはりそれ相応の負担をしていくことになっていきますが、やはり税率の改正は避けては通れない部分だと考えておりますので、議員おっしゃいますように、あらかじめ、今後も国保の財政状況については加入者の皆さんに広報等を活用して、今どういう状況ですということをお知らせしながら取り組んでいきたいと考えています。

○議長 知念富信君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん ありがとうございます。そうですね、簡単に解決できる問題ではないので、一つ一つ解決できる方策をとっていかないといけないのをしみじみ感じておりますので、協力できる部分がありましたら、また私たちも頑張っていきたいと思います。

(2) (3) ですけれども、国に対しても今後要望を、これまでもしてきましたけれども、さらにやっていかないと今現在積み上がったものは解消できないと思います。また県に対しては責任主体ということで、正直申しまして一括交付金も全部使えないぐらいの財政状況になっているわけです。県に戻すわけですから、県のほうでそういったものに活用してとか、そういう方策もお願いしていかないといけないと思いますけれども、町長の見解を伺いたいと思います。

○議長 知念富信君 民生部長。

○民生部長 知念 功君 国、県への要請につきましては、先ほどの答弁のとおり引き続き要請していきたいと。そして国に対する要請については、全市町村長が集まる国保の技術者会議というのがございますが、3月にございました。その場においても確認されておりますので、ことしもまた、県も一緒になって要請していくことを確認しております。県に対しての要請でございますが、これも例えば主管課長会議もございます、そして国保連合会における技術者会議もございます、そういった部分の場とか、あるいは沖縄振興拡大会議の中とか、そういった場において機会あるごとに県には要請していきたいと。やはり県単位化になっていきますので、県は国保財政の責任主体でありますので、それなりの財政運営に関して、是非支援してもらいたいと。県がどのような形での支援になるかはいろいろ考えるところではあると思いますが、とにかく県が財政支援をすることによって、県全体の国保加入者の負担が幾ら軽減できるような形がとれていけるものだと考えますので、議員も先ほどおっしゃっていましたように、協力できることはということでございまして、是非これは、一町議会ということではなくて、全県で、そして県議会とか、そういった皆さんでしっかり県がそういう形で沖縄県の国保財政の支援を考えていただるように要請できたらと考えています。

○議長 知念富信君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん 沖縄全体の問題として私たちもかかわらないといけないと思っておりますので、できるところを頑張りたいと思います。この気持ちに関しては全議員一緒だと思いますので、あり方は違うかもしれませんが、税率とかの問題で。国に対する要望とか県に対する、負担に対するもので議員としてはみんな一緒の気持ちだと思いますので協力していきたいと私は思います。大きい問い2は終わります。

241号線について伺いたいと思います。実際、今工事中ということで、新川から兼城方面におりてくると、毎日のように路線が変わっています。右に行ったり、左に行ったり、もうかなり厳しくて、議会中ではあったんですが、昼、家に戻ろうとしたら、首里向けに行って新川に入る右折帯のところで、こちらがとめられていて相互通行になるような形で規制されているんですが、道を間違ったと勘違いした方が真ん中で車がとまってしまって、逆走していると勘違いして危険になったりとか、そういうこともあるものですか。県に対しては町として、もう少し工事のあり方とかチェックすることは大事じゃないかと思いますが、実際、町道パトロール中に気づいたこととか、県への要望とか、工事の中でもお願い、要望等をしてきたことがあるかどうか、確認したいと思います。

○議長 知念富信君 まちづくり振興課長。

○まちづくり振興課長 金城政光君 国、県の工事に関しましても、安全上問題があるとか、そういうものがあれば要請はしていております。

○議長 知念富信君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん しているということですが、実際、兼城から照屋向けに行きますと、真ん中の中央分離帯のところがまだあけられていなくて、トシブロックが置かれていたりとか、ずっとあったんですが、そちらでの交通事故もかなりありましたよね、ぶつかって破片が飛んでいるとか。そういうところでは、津嘉山の区画整理地内のほうでも現場視察のときに話をしたんですが、塗装で、ブロックが置かれているのが見えるようにとか、反射するものを置くとか、そういうことがされていないような状況が見られるものですから、そういったことでの注意喚起とかも要望しないと、昼間見ることが多いから感じないのかもしれませんが、夜とか、今回の質問の中でも防犯灯とかライトがつかない、なぜかというところで、県道は交差点、信号があるところというふうに答弁をもらっている方もいらっしゃるけれども、防犯灯もない、明かりもない、そこにブロックが置かれてわかるかと言われたらわからないと思うんです、わかりにくいと。反射もしないですし、そういうところの注意喚起、まだ工事は続きますよね。その先を考える中でも国、県に対する要望、気になるところは町民からの声ということでも要望していただきたいと思いますけれども、いかがでしょうか。

○議長 知念富信君 経済建設部長。

○経済建設部長 神里操也君 確かに議員がおっしゃるように、地域の声として国、県への要望等は即対応できるようなものは連絡して、現状もやっておりますけれども、それはまた随時出たところでしっかりとやっていきたいと思っております。

○議長 知念富信君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん ありがとうございます。実際、工事が始まってかなりの年月がかかって、やっとこの状況まで来ているんですけれども、その間にあっても路面標示をずる際にかなり時間がかかって、きょうもやっているとします。業者の方も一所懸命だと思いますが、何回も路線が変わる中で事故りそうになるのをよく見るんです。そういったところでも注意喚起をもっと早目にするようにとか、そういったところもお願いしたいと思ひます。

次、(2)に行きたいと思ひます。南部土木事務所からの回答を見ましたけれども、実際、この中では地域の説明会を重ね、周知を図りということですが、周知は図ったかもしれないけれども、理解までは行かない、納得までは行っていない方も実際はいるわけです。その中で今、計画のときよりかなり人口がふえて、1カ月で100世帯ぐらいふえるときもありました、アパートが一気にふえてとか。そういった中で県道へのアクセスがなかなか厳しくなつて、1カ所、今、実際出られるのはファミリーマート側の信号から出るのが基本になると思ひますけれども、首里方面へ行けないですからね。あそこから出る方も結構多くて、歩行者用のあれも確保されていませんのでかなり危険。電柱も結構ありますのでかなり渋滞するんです。その中にあって、先日21日、329号の側道も開通しましたけれども、なかなか渋滞の解決には至っていない。側道という部分でなかなか出にくいと思ひますし、奥側、北丘小学校付近側から中道を通つて、古道を通つてという形になると、なかなかいらないですね、現状見てみると、まだ。首里側に抜ける方が結構いるものですから、歩道橋が通つたとしても改善には至っていない状況があると私は感じています。新しく、一部開通はもう間近だと思ひますけれども、なかなか字外に出られない状態の中で、また一部分は区内に入れない箇所があるということで、今回県道にまた道路を結ぶことで機能復旧とありますけれども、以前は里道があつて歩いては中のほうに入る道があつたんです。それは今閉じられています。私有地につながる道ということで、中の里道を歩いて行けたところはもうなくなつていて、その一部の家からは坂を下つて、県道側の歩道を通つて区内に入っていくという形になっているものですから、アクセスがかなり遠回りになってきていると。車にしても、一旦育成園側におりて、また首里に向かうように出て、そこからまた字内に入ると。かなり不便です。実際、今現在でも車が多い状態なので、そういう生活圏域の中でそういう難儀といいますか、不便さを与えるものですから、できたらもう少し考へて町道整備なり、町としても考へるべきではないかと思ひますけれども、いかがでしょうか。

○議長 知念富信君 まちづくり振興課長。

○まちづくり振興課長 金城政光君 里道がなくなっているというのは、ちょっと聞いてはおりませんけれども、以前道があつたがなくなっているというのは確認しております。

公図上は里道はないんです。私道になっていますので、これは私道ではないかと思っています。以前、私道が道路の形態であったけれども、それが閉じられてしまったという形だと思います。日々の生活のお話ですので、うちのほうで里道の通行が今できないというか、図面上あるけれども、通れる状況ではないというのがありますので、この辺はちょっと検討できるかと思っています。

○議長 知念富信君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん ありがとうございます。生活圏内で区内に入れないというのは、何か弾かれたようで余りいい気持ちはしないと思うんです。幾ら説明会を開いて周知を図ったからといって納得はしていないと思います。納得はしていないと聞いていますので。ですので、できるだけ生活がもとに戻るといいですか、そうできるようにお願いしたいと思います。実際、私の家から出るときにも兼城方面にしかおりられないということ、かなり不便になってきて、今までは両方に分散されていた交通が片方に集中するわけですから、かなりの量になっていると思います。子供たちの安全性を確保する上でも信号の間隔とか、そういったものも今後開通した後に検討されると思いますけれども、この件については以前も老人会のほうからも見守りのときに危ないということで、新川交差点のほうで要望等が結構出ていると思います。字からも出ていると聞いていますし、私も一緒に立ち上がったこともあります。早く改善できるようにお願いしたいということと、管理について、町道との接点の部分でも横断歩道が見えなくなったり、そういうことも出てきますので、県道が開通した後になるのか、その途中なのかはわかりませんが、速度制限なり町道の誘導の方法とか、実際中に新しい住民の方もふえてきて、急いで抜けていくと、また駐車場として貸している場所も多いものですから、スピード違反といいますか、こんなに字内でスピードを出すのかという方もいらっしゃると思います。中には民泊をされて一棟貸しとかされているところもあって、海外の方が通ることも実際あるものですから、道路標識の表示方法、案内の仕方、字新川だけではなくてほかのところについてもそういったことで危険だと思われる箇所だと思われる箇所があったら、早期に対応してほしいと思いますが、いかがでしょうか。

○議長 知念富信君 経済建設部長。

○経済建設部長 神里操也君 新川地区におきましては、バイパス等も21日に供用されまして、側道部が供用されまして、かなりの交通量、抜け道とかそうなるということが今後考えられるとは思いますが。そういったところにつきまして、集落内につきましてスピードを落としてくださいとか、そういった看板等で注意喚起をすとかということで対応してまいりたいと思っております。

○議長 知念富信君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん かなり交通量がふえて危険だと思うことが多くなってきています。実際、私も家の前で車に轢かれそうになって、こんなに危険になるというイメージがないぐらいの田舎だったものですから、これまで。実際、子供たちが、新しいバイパスが通る際に新川の中を通ると昔の新川ではないというぐらいに大分変化しています。その中においては交通のマナーとかそういった喚起も大事になってくると思います。字からの要望は今後行くと思いますので、それぞれ検討していただいて、早期の対応をお願いしたいと申し上げて、質問を終わりたいと思います。ありがとうございます。

○議長 知念富信君 休憩します。